

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	理工学研究科
大項目	4 教育研究組織 (研究科)
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KGI) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価 (2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育研究組織が、理念・目的に照らして適切なものであるか1年に1回学部長室委員会で定期的に検証を行う。	→学部長室委員会での検証状況。	C	B			
			☆			
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目4.0.1	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。 (説明) 理工学研究科の教育・研究を充実させ、教育目的・理念を遂行するために2009年度には数理科学専攻修士課程を設置し、2011年度には数理科学専攻博士課程後期課程を設置した。また2013年度には人間システム工学専攻博士課程前期課程・後期課程の設置を予定している。
☆ 小項目4.0.2	(検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→→→→→→→ → <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない (説明) 学部長室委員会および研究科委員会において毎年資料を配付して、検討している。
その他	この理念・目的を進化的にさらに発展させるためには、理系を拡大し応用分野を充実させる必要があり、大学新中期計画において、現在理系充実策を検討中である。

《評価指標データ》

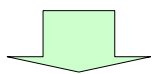
- 博士研究員（PD）の受入状況
- 日本学術振興会特別研究員（DC、PD）の受入人数
- 研究誌発行状況
- 提携大学との研究誌等の交流状況（送付・受入）
- 専任教員の発表論文数【基本的な指標データ】
- 学術賞の受賞状況【大学基礎データ】
- 学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文数
- 21世紀COEプログラムの採択状況
- 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況
- 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況【基本的な基礎データ】
- 特定プロジェクト研究センター制度の活用状況
- 国際学会でのゲストスピーカーの延べ回数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	



《次年度に向けた方策(1)》伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	



《次年度に向けた方策(2)》改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

《点検・評価》&《次年度に向けた方策》

☆その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

○教育研究組織について定期的な点検が行われ充実が進められています。

【学内委員】

○ここ数年間において、設置済みもしくは設置予定の専攻が3分野存在し、理工学研究科の教育目的・理念の遂行に多いに貢献しているといえます。さらに、教育研究組織の適切性についても定期的に検証されています。これらの内容は非常に高く評価できます。

○学術の進展や社会の要請との適合性に関して学部長室委員会で検証を行っているのでしょうか。また将来構想委員会があるようならば、そこでも検証をされているのではと思われます。もしそのような組織での検討を行っているのなら、実施回数を含め示す事が望まれます。

○理念・目的に照らして適切な理由を、簡単でも示されることが望まれます。

【大学基準協会:評価に際し留意すべき事項】

○小項目4.0.1

基盤評価：なし

達成度評価：「教育研究組織が、当該大学、学部・研究科等の理念・目的を実現するためにふさわしいものである」

○小項目4.0.2

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育研究組織の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

4.0.1(現状説明)

元々あった理学学研究科の物理学専攻と化学専攻の基礎教育を土台として新専攻が組み立てられており、教育組織として教育目標である基礎教育を重視した応用分野の教育・研究が徹底できる構成になっている。

4.0.2(現状説明)

★ 現在社会的にも理系分野の充実の要求が高まっている中、学部長室委員会では理工学研究科の新分野の増設も考慮して、話し合いを行った。さらに、「KSC戦略本部委員会」の基に発足した「理工学部将来構想委員会」においては、強化充実すべき理工分野について、4回にわたり具体的に討議を行った。